

火の見櫓

(題字は 大松八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
松村康正
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722
刊行物番号 R1-94



第63回大阪府消防大会

大阪府消防大会
小型ポンプ操法の部
安全・確実な操法を披露!

令和元年9月1日(日)、大阪府立消防学校において、第63回大阪府消防大会が開催され、八尾市消防団北東方面隊が中河内地区支部代表として、小型ポンプ操法の部に出場しました。

今年の2月から始まった訓練は厳しい寒さに耐え、雨の中、暑さの中、北東方面隊が一致団結し、夜遅くまで訓練に励んできました。選手たちは、その成果を遺憾なく発揮し、安全、確実、迅速な操法を見せてくれました。惜しくも入賞には至りませんでした。北東方面隊が一丸となり、目標に向かって訓練に取り組んだことで、方面隊としての団結力が高まり、今後の消防団活動に活かしていきたいことだと思えます。

松村団長はじめ団本部、各分団諸先輩方の温かい激励には本当に感謝しております。

そして、選手はもちろん、サポートして下さった北東方面隊の皆様方、長期にわたり本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

◆(高安分団 貴島 孝浩)

新市長・新団長あいさつ



八尾市長
大松 桂右

消防団員並びに防災関係者の皆様には、平素より市内各所において、火災予防の推進に取り組みられるとともに、地域防災活動を積極的に展開され、消防防災の推進に多大なるご協力を賜り、深く感謝と敬意を表します。

近年、台風や集中豪雨、地震など、甚大な被害をもたらす自然災害が全国各地で多発しており、消防防災体制の充実強化は、喫緊の課題となっております。

本市におきましては、火災を含め、様々な災害を想定し、他市との連携や各機関、地域と一体となった防災体制の組織化を図るとともに、消防訓練・防災訓練等に積極的に取り組んでいきます。また、昨年4月から消防団に新たに創設した「女性分団」により、「火の元点検」や避難所運営等において、防火・防災に関する啓発活動に女性の視点

を活かすなど、女性分団を地域と消防との架け橋とし、より一層の地域防災力の向上を図っています。今後も、発災時において大きな力となる地域コミュニティにおける防災力を高めていくとともに、市民の命と財産を守るために全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、誰もが安全で安心して住み続けられる八尾を実現するために、今後とも消防防災行政にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、八尾市消防団のますますのご活躍と団員の皆様のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。

▼プロフィール

氏名 大松 桂右
(だいまつ けいすけ)
生年月日 昭和45年2月5日
身長 168cm
体重 58kg
血液型 B型
経歴等
八尾市八尾木北出身
金光八尾高等学校卒
1999年(平成11年)
5月 八尾市議会議員就任
2012年(平成24年)
5月 第68代八尾市議会議員
2019年(平成31年)
4月 八尾市長選挙 初当選
2019年(令和元年)
5月 八尾市長就任



八尾市消防団
団長 松村 康正

日ごろから、本市消防団につきまして、あたたかいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、3月31日付けをもって退団されました向井団長をはじめ、23名の皆様には、長年にわたり、地域住民の安全確保にご尽力いただきましたことに、深く敬意を表する次第でございます。

一方、4月1日付けで、新たに23名を団員に任命いたしました。新団員の皆様は、地元の推薦を受けられた優秀な方々であり、生まれ育ったまち八尾を災害から守るといふ、強い決意と誇りをもって入団いただいたものであります。

これからは、伝統ある本市消防団の一員として、全力で消防活動にあたっていただくことをお願い申し上げます。

近年、社会情勢の急激な変化や異常気象により、災害も複雑多様化の傾向にあり、地域住民の消防に対する期待はさらに大きくなってまいります。

このため、消防団の果たす役割は今まで以上に重要となっております。市民の安全・安心を守るため、その動員力と即時対応力を活かし、より一層地域に密着した魅力ある消防団を目指すとともに、さらなる防火・防災活動に努めて参ります。

令和という新時代を迎えましたが、我々八尾市消防団は、諸先輩方が築かれた伝統、崇高な使命感をしっかりと継承しながら、今後も地域住民の生命・財産を守るため、消防団活動に精励致す所存であります。



消防団員任命式

平成31年4月1日(月)消防団員の任命式が挙行され、23名の新団員が誕生しました。

新団員の皆さんにこれからの抱負について伺いました。

氏名(所属)

①職業

②趣味

③抱負



③②① 丸橋 憲士(大正) 自営業 散策
自分が育った町や地域へ少しでも貢献できるように自分ができることをしたいです。

③②① 石田 剛裕(八尾) 会社員 野球観戦
分からないことばかりですが少しでも地域に貢献できるように頑張ります。

③②① 梅本 司(八尾) 会社員 日本酒探し
消防団員として、できる限り地域に貢献できるように頑張ります。

③②① 松田 孝志(久宝寺) 整備士 ソフトボール
不安もありますが、これから訓練を重ね地域の皆様のお役に立てるように頑張ります。



③②① 川崎 喜弘(南高安) 会社員 野球・ゴルフ・スノーボード
消防団員として地域の安全のために尽力していきたいです。

③②① 浅野 真人(南高安) 運送業 先輩方のご指導のもと、精一杯地域の安全のために頑張ります。

③②① 西尾 知大(南高安) 会社員 ゴルフ
地域を守る消防団員として、諸先輩方に追いつけるよう頑張ります。

③②① 林 裕之(南高安) 営業マン 野球
一日でも早く諸先輩方に追いつき、消防団員として活動できるように日々精進します。

③②① 南 翔仁(南高安) 会社員 仕事
日々の訓練に励み、地域を守る消防団員の一人として職責を果たせるように頑張ります。

③②① 森本 幸宏(南高安) メンテナンスドライバー 特になし
先輩方に教えをいただき、早く一人前の消防団員になれるよう努力したいと思います。

③②① 金村 泰弘(曙川) 会社員 ゴルフ
消防団員として経験を積み、少しでも地域の安全に貢献できるように努力していきます。



③②① 富田 英一(山本) 自営業 DIY
地域の防災に少しでも貢献し、安全なまちづくりを目指して頑張ります。

③②① 三吉 隆文(山本) 会社員 読書
地域を守るため、地元の方々に共感し、頑張ります。

③②① 上之原 伸二(山本) 運送業 水泳
生まれ育った地域の防災に貢献できるように一杯頑張ります。

③②① 石橋 歩(高安) 造園業 模索中
消防団員として、精一杯頑張ります。

③②① 森田 康平(高安) 現場監督 ソフトボール
分からない事はありますが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

③②① 増田 裕一(高安) 会社員 バイク・スノーボード
地域の安全を守る消防団の一員として、先輩方を見習い、日々精進します。

③②① 乾 量(南高安) 会社員 美食探求
消防団員として、地域に貢献できるように、日々自覚を持って行動し、訓練に努めます。



③②① 金原 優子(女性) 介護職 映画鑑賞
消防に関する知識をしっかりと習得し、入団した日の気持ちを忘れず誠実に活動していきたいです。

③②① 高萩 栄(志紀) 電気工事士 銭湯巡り
地域を守る消防団員の一人として、一日でも早く知識・技術を習得できるように訓練に励みます。

③②① 加藤 陽介(志紀) 会社員 ゴルフ
子供や家族が住む地域に少しでも貢献し、諸先輩方の足を引っ張らないよう頑張ります。

③②① 柴野 元(志紀) 会社員 サッカー・フットサル
全力で消防団活動に取り組み、地域に貢献できるように頑張ります。

③②① 西森 慎二(山本) 会社員 釣り
諸先輩方のご指導のもと、地域の皆様に信頼される消防団員を目指します。

恩智川水防訓練



4月27日(土)、花園中央公園にて恩智川水防訓練に参加させていただきました。

訓練内容は、集中豪雨のため恩智川の水位が急上昇し、越水が発生した場面を想定した、各種水防工法の確認・作業の実施でした。

八尾市消防団については、「杭打積土のう工」を行いました。この工法は、堤防の裏法面(うらのりめん)が崩れたり、崩れそうな場合に、法崩れの下部に、木杭を数本等間隔に打ち込み、土のうを固定し、裏法面が崩れるのを防ぐ

というものです。

私は初めての参加でしたが、土のう作成から水防工法まで、自分の知識・技術を高める良い機会になったと思います。

近年、温暖化の影響による台風大型化等で、以前にも増して多くの水害が発生する可能性があります。また、今後南海トラフ地震の発生も予想されることから、消防団全体で防災意識をより高め、災害に備えていく必要があると改めて実感することができました。

◆(南高安分団 東出 友和)



久宝寺・美園小学校自主防災訓練

5月19日(日)、久宝寺小学校にて、自主防災訓練を実施しました。

消防署員、消防団員(久宝寺分団)、大阪経済法科大学の学生消防隊「SAFETY」、が指導者となり、地域住民の方たちに様々な消防訓練を体験いただきました。当日は、子供が大勢参加していたので、保護者の方たちも子供が頑張っている姿を見られる良い機会だったと思います。

訓練内容は、水消火器を使った初期消火訓練、火災時の煙を想定した煙中体験、体育館では、ロープ結索、応急手当と様々な訓練を行う事が出来ました。

子供たちは恥ずかしがりながらも楽しく参加している様子で、非常に良い訓練でした。

6月2日(日)には、美園小学校にて、自主防災訓練を実施し、子供たちに消火器の使い方説明をする機会を頂きました。

子供たちは元気で活気あふれ、訓練は大盛況でした。また、美園小学校では可搬消防ポンプを使用して、自治会の方に、放水を体験

していただきました。放水訓練では、水圧の凄さ、補助者の重要性、手信号の大切さを知る事ができた訓練でした。

両校の訓練ともに、指導者として安全に充分配慮し、役割を果たすことができ、参加頂いた住民の方たちに消防団をアピールできたと思います。また、近年様々な災害が発生している中で、防災への意識を身近な問題として意識づけることができた訓練でした。

これからも消防団員として、防災に対するスキルも磨いて地域に貢献していきたいと思えます。

◆(久宝寺分団 堂田 隆治)



木村長門之守重成公祭礼

5月25日(土)、幸第一公園にて木村長門之守重成公祭礼が行われました。

天候も良く各諸団体様や地域の皆様を招き若江鏡神社の神主さまのご祈祷のもと、御参拝いただきました。午後からは露店も出て、地域の子供たちの声で賑わいました。

私たちの地域では、若い人が少なく、お年寄りが多いように思います。災害の時、団地が多く、避難に時間がかかる為、地域の方々と連携して住みよい地域を目指し



努力していかなくてはいけないと再確認しました。

◆(西郡分団 安田 武仁)

北山本小学校区自主防災訓練

5月25日(土)、北山本小学校にて、北山本地区自主防災訓練が実施され、山本分団も参加しました。

災害の被害を軽減させるには、公共機関の援助・支援による「公助」に加えて、地域住民相互の助け合いによる「共助」、自らが自らの命を守る「自助」、それぞれの考え方が重要とされています。



今回の自主防災訓練では、その中でも、「共助」の意識を高めるため、互いに声を掛け、助け合いながらバケツリレーをしたり、放

水体験等を実施しました。真剣な表情で筒先を握っている小学生を見て、将来の地域防災の担い手として、とても頼もしく見えました。

今後このような自主防災訓練を通して、地域住民の方々が防災の意識を高められるように、私たち消防団員も協力していきたいと思えます。

◆(山本分団 渡瀬 太一)

大正北地区福祉研修会

6月29日(土)、大正北小学校において、「障がい者の特性について理解を深める」というテーマで、八尾市障害者団体連合会の方々に御越しいただき、大正北地区福祉委員会主催の研修会が行われ、我々大正分団も参加させていただきました。

様々な障がいの特性について、障がいをお持ちの方々、また、そのサポートをされているヘルパーさんから御指導をいただきました。

八尾市障害者団体連合会会長の渡辺節子様のお言葉の中に印象に残る言葉がありました。

「我々視覚障害者、また、聴覚障害をお持ちの方は情報弱者です。例えば、視覚障害者は避難所にお

ける文字による通達は認識できない。聴覚障害者の方は音による情報発信は認識できない。」と仰っていました。



会長に直々に教えていただいたのは、視覚障害者を誘導する際の注意点で、誘導する方の背後に手を添えないということです。背後に手があると前方の情報が把握し辛く、視覚障害者にとっては不安を増幅させる行動だそうです。

良い形は誘導者が前方に立ち、手を繋ぐ、もしくは腕を持つてもらい、前方や足元の状況を言葉で伝えながら導くという方法が良いということでした。

災害発生時だからこそ、そういった細部にまで配慮が必要であることを知り、今回の研修会に参加できたことで、消防団員として一歩成長できた気がします。

◆(大正分団 今仲 幹夫)

山本コミュニティセンター

7月28日(日)、山本コミュニティセンターにおいて「第2回わくわくフェア(学ばー遊ばー)」が開催されました。このイベントは昨年から実施されており、八尾市役所の関係部局である消防本部、水道局、都市整備部や各関係団体が参加しています。

当日はとても暑い日にも関わらず、就学前のお子様からご高齢の方まで、様々な年代の方にご参加いただきました。私達女性分団員4名と、大阪経済法科大学の学生消防隊(SAFETY)3名との合同で、AEDの使用方法及び心肺蘇生法の指導を行いました。

イベント参加者には小学生以下のお子さんが多く、AEDと訓練用人形に興味津々で、自分の番が来ると、こちらの説明を聞くまでもなく見様見真似で心肺蘇生法を実施してくれる子が多く見受けられました。

AEDの使用や心肺蘇生法を正しく行うことは、小学校低学年以下のお子さんには難しいことから、傷病者発見から119番通報までの流れを、できるだけわかりやす

く、丁寧に指導しました。参加者のお子さんに「もしママやパパが倒れていて、呼んでも返事がないときには大人の人を呼んだり、救急車を呼んだりできますか?」と最後に確認すると、「できる!」と自信を持って答えてもらえました。



また、保護者の方にも、心肺蘇生法等を体験していただき、実際に体験していただくと、胸骨圧迫は、「思っていた以上に力がある、しんどい」という声がありました。救急車が到着するまでの間は、胸骨圧迫を一人で続けるということは難しいので、周囲に助け

を求め、交替で行うことの重要性もお伝えしました。

実際に道で倒れている人を発見し、119番通報をしたことがあるという方もおられ、その経験から心肺蘇生法やAEDの使い方を教えてほしいとブースに来てくださいました。

救命処置に高い関心を持たれている方が多く、多くのご質問をいただきお答えする中で、私自身も勉強になりました。

今回イベントに参加し、救命処置を体験していただいたことで、救命の現場に居合わせた際には、自信を持って救命のリレーをスタートさせていただけるのではないかと思います。

先輩方のように臨機応変に対応できるよう、今後も自己研鑽に励み、各種イベントで応急手当指導員としてより多くの方々にAEDの使用法、心肺蘇生法等を伝えていくよう努めてまいります。

◆(女性分団 武田 恵美)

亀井小学校区納涼盆踊り大会

8月3日(土)、毎年恒例の納涼盆踊り大会が行われました。小さいお子様対象のビンゴ大会

に始まり、小学生によるダンス発表、地域の方々によるカラオケ大会、河内音頭、最後に、景品抽選会と、夕方5時から夜10時まで、皆さん大いに楽しまれました。例年、消防団は役割として、前日の朝6時より設営のお手伝い、盆踊り大会開催中の自転車置き場の整理誘導、翌日早朝よりの施設解体等を行っています。

地域の方々と直接ふれあい、また、消防団という組織がこの地域にもあるということ、住民の皆様を知ってもらう良い機会になればと思います。毎年、団員一丸となり頑張っています。

◆(龍華分団 山崎 聡)



中河内地区支部消防総合訓練

8月11日(日)、大阪府中部広域防災拠点にて、八尾市、柏原市、東大阪市の各消防団員総員220名、消防車両12台が参加して、「令和」最初の中河内地区支部消防総合訓練が実施されました。

早朝から容赦なく気温が上昇する中、9月1日に開催される大阪府消防大会に向けて、まずは東大阪消防団によるポンプ車操作が行われ、節度のある、安全・確実・迅速な操作を披露していただきました。

一方で、今回予定されていた八尾市消防団による小型ポンプ操法の披露については、総合訓練前の練習中に出場選手が負傷したため、残念ながら披露を辞退することとなり、改めて体調管理、安全管理の重要性を痛感させられました。しかし訓練全体としましては、厳しい条件の中で各団員が最後まで規律を失うことなく、訓練を無事に終えることができました。これは日頃から積み重ねてきた訓練の成果によるものであり、今後も自己研鑽を怠ることなく、消防団活動に邁進していきたいと思えます。

◆(志紀分団 北山 克)



八尾河内音頭まつり

9月8日(日)、久宝寺緑地上競技場をメイン会場として、第42回八尾河内音頭まつりが開催されました。昨年は台風21号の影響で残念ながら中止になりましたが、今年は晴天のもと、大勢の方が参加されました。

河内音頭の本場八尾ならではの河内音頭グランプリ、大盆踊り大会、B級グルメが出店するマルシェ、ダンスコンテスト等、ふれあいステージで様々なイベントが

あり、終日大勢の人で活気に溢れていました。

私たち消防団は、会場周辺の警備にあたりました。当日は小さなお子様からお年寄りまで、本当に大勢の方々が来場されていたので、混雑の中、歩行者・自転車の往来による事故で、負傷者等が出ないか心配でしたが、特に大きな混乱もなく終えることができました。

警備に参加された本部の皆様、各分団の皆様、暑い中大きなイベントでの警備、本当にご苦労様でした。

◆(八尾分団 中村 道弘)



防災一口メモ



私たちの身の回りには、携帯電話・パソコンなど、充電して使用する電気製品が多く普及しています。これらの充電池として使用されているのは、リチウムイオン電池が大半を占めています。

リチウムイオン電池は一部の自動車用バッテリーにも使用されており、今や私たちの生活には欠かせないものと言えるでしょう。その一方で、リチウムイオン電池はエネルギーが大きいため使用方法を間違えると思わぬ事故や火災につながる可能性があります。

例えば、モバイルバッテリーを充電する際、専用充電器(対応型)ではないものを使用したり、充電機器を誤った設定で使用したりすることで過充電になり、火災になったという事例が実際に起こっています。

リチウムイオン電池に限らず、電気製品は私たちにとって身近であり生活に必要なものです。しかし、改めて今回ご紹介したような危険性が潜んでいることを再認識していただき、使用方法を守って火災を予防していきましょう。

◆(龍華分団 西川 尊之)

第 6 3 回大阪府消防大会を終えて



指揮者
野口 裕光

昨年度の南西方面隊に続き優勝を目指して、北東方面隊のサポートのもと、2月から個別の訓練を開始し、4月から全体での訓練を行い、すべての訓練において、事務局の指導者の方々と真剣に向き合い、操法技術の向上に努力してきました。結果は非常に残念な形でしたが訓練に参加した全員がひとつの目標に向かって厳しくもあり充実した訓練を行えたことは、北東方面隊にとって大きな財産になったと思っています。



1 番 員
樋口 善史

訓練を行ってきた約半年が意味のあるものとするために、今日の結果を、今後の活動の展望とします。最後に訓練の際にサポートしていただいた皆様に感謝します。

この度、1番員として小型ポンプ操法に出場させていただきました。もとはサポートでしたが、大会直前に選手の方にアクシデントがあり急遽の出場でした。他の選手は半年以上前から訓練をされていたので、足を引っ張ってはい

けないという気持ちと、「期間が短くから良い操法ができない」ではなく、「絶対に優勝する」という気持ちで約2週間必死に訓練に取り組みました。しかし当日は結果が伴わず、本当に悔しいですが、今後はご指導、サポートしていただいた方や応援してくれた方への感謝の気持ちと、この悔しさを忘れずに消防団活動も頑張っていきたいと思えます。ありがとうございます。



2 番 員
清水 大輔

2番員として出場させていただきました。最初は、年齢的にも体格的にも自分が選手になるとは微塵も思っていなかったのですが、山分団長から選手に指名していただいた当初は不安しかありませんでしたが、諸先輩方の丁寧なご指導、そして山本分団・高安分団の皆さんのサポートのおかげで、度々なる怪我に悩まされはしたものの、何とか最後まで訓練を終える事が出来ました。

残念ながら目標の優勝には至りませんでした。長い訓練を北東方面隊が一丸となり取り組めたこと、多大なる気遣いとともにご指導くださった本部の皆様、とりわけサポートに専念してくれていた仲間たちには重ねて感謝の

気持ちでいっぱいです。一団員として、また北東方面隊としても今後につながる良い経験をさせていただいたと思っています。



3 番 員
竹内 孝太郎

3番員として出場させていただきました。結果は残念な形になりましたがこの大会を通じて本当に貴重な経験をさせていただきました。

正直、選手として指名をいただいた時に、自分にできるのか不安でした。今年の2月から自主練習を始め、4月から本部の方からの指導を受け、少しずつ形になっていくのを実感し、練習を重ねていく中で徐々に自信が付き、「出来る」と感じる事ができました。仕事終わりでお疲れの中、訓練をサポートしていただいた皆さんに本当に感謝しています。この経験を今後の消防活動に活かして頑張っていきたいと思えます。



補助員
錦織 栄夫

補助員として出場させていただきました。2月から自主練習が始まり、4月から防災拠点で訓練を重ね、優勝だけを

目標に取り組んできました。補助員として、他の選手が良い操法ができるよう、選手の1人としてサポートできればと訓練してきた中で、各番手の一つ一つの動作の大切さ、難しさを勉強できる、実のある訓練をさせていただいたと思えます。長きに渡りご指導くださいました消防本部警防課指導者の皆様、サポートいただきました北東方面隊団員の皆様、本当にありがとうございます。優勝には至りませんでした。今後の消防団活動に活かせる良い操法訓練ができたいと思います。

◎ 広報部員名簿 ◎

- | | | |
|------|-------|--------|
| 委員長 | 西部分団 | 棚田 秀行 |
| 副委員長 | 龍華分団 | 福田 大祐 |
| 委員 | 山本分団 | 西川 尊之 |
| | 久宝寺分団 | 土谷 研太 |
| | 西部分団 | 堂田 隆治 |
| | 八尾分団 | 安田 武仁 |
| | 龍華分団 | 中村 道弘 |
| | 大正分団 | 山崎 健太郎 |
| | 曙川分団 | 山崎 聡夫 |
| | 南高安分団 | 北野 智樹 |
| | 高安分団 | 大藤 秀義 |
| | 松浦分団 | 齋藤 彦彦 |
| | 貴島分団 | 西尾 康彦 |
| | 渡瀬分団 | 浅井 康典 |
| | 北山分団 | 森田 泰典 |
| | 志紀分団 | 平山 孝一 |